

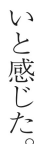
大阪府と農業者組織が連名で

農水省に施策・予算を要望

昨年12月に実施した、これらの農家組織と大阪府幹部職員との意見交換会で、「地域計画に位置付けられた担い手の支援」

大阪府農業法人協会

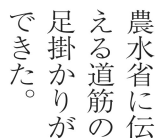
農水省に伺うと、経営局長室に場所を設定していただき、大阪農業の基本的な現状と課題をじっくりとお話することができたことは、大変よかった。今回のことで、これからも農水省とつながるパイプを持ち続けた、と感じた。



大阪府農協青壮年組織協議会

「国庫補助事業を活用した都市農業への支援の在り方」、などをテーマに協議する中で、大阪府は農水省に施策提案しているが、農家と同じ思いの要望は、農家と行政が一緒に要望することにより迫力のあるものとなることから連名で要望することとなった。

当日は「地域計画の実現に向けた担い手への支援策の拡充」として、大阪府担当者が、



大阪市中央区農人橋 2-1-33
JAバンク大阪信連事務センター3階
電話 直通 06(6941)2701~2
<http://www.agri-osaka.or.jp>
発行人 中谷 清

年金の
お受け取りは
JAで



JAバンク大阪へ

主 な 記 事

- ◎都市農業を考える研修会
農園 杉・五兵衛で開催……2面
- ◎農地利用最適化の意見を提出
茨木市農委……………3面
- ◎新聞普及巡回を実施
一層の普及推進を依頼……4面

風速計

テレビのゴールデンデントタイムでよく目にする「大喰いコンテスト」や「大盛り食堂」を紹介する番組。視聴者

はどのような気持ちで見ているのだろうか。昨今の世界的な食糧危機への懸念が話題になる中、つい食品を無駄に消費しているのではないかと思ってしまう◆6月末に政府は、令和5年度の食品ロス量が前年度比8万ト減の464万トと公表。徐々にではあるものの食品ロス減少へ向けた取組の成果が出ているとのことだが、食料を大量に輸入しているのに、食べられることなく捨てているという現実をもっと直視する必要があるようだ◆テレビでは毎日のように貧困で日々の食事も事欠く子供たちの映像が流れ、ユニセフが、彼らへの支援を求める放送をしている。飽食日本のテレビ番組を見えるにつけ、何かいたたまれないような気持ちになる。

(光崎)

の提案・要望趣旨を説明し、参加した農家全員が農水省へ具体的な支援内容や現場での課題等を説明した。

農水省経営局の小林大樹局長は「色々な現場の意見をお聴かせいただいた。限られた予算ではあるが、国として支援を求める方々に施策が届くよう知恵を絞りたい」と応じた。

参加した農家からは、初めての農水省への要望で、十分に思いを説明できなかったという感想も聞かれたが、大阪の課題を農水省へ伝え続けることが大切との認識を共有した。（藤岡）

〔藤岡〕